

《肥料の施肥例》

あぶらな科野菜との連作は禁物！初期成育が大事なので元肥はたっぷり♪ 又、ホウ素やモリブデンなどの欠乏症が出やすいので良質堆肥も忘れずに入れましょう。

◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 90g

他に…トヨクween(石灰) → 120g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 3kg

PKマグ32 → 40g …等

◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 30g

※1回目は本葉10枚頃、2回目はその20日後に追肥し、株が倒れないようしっかりと土寄せも行う。側花蕾が出るタイプはさらに2~3回追肥する。



この肥料の特徴

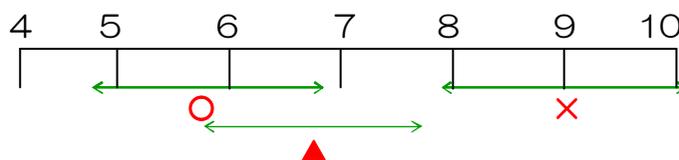
栗のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心して安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。

ブロッコリー カリフラワー

▶特徴と栽培のポイント

カリフラワーはブロッコリーの花蕾が白く変異した物で、肥培管理はほとんど同じです。又カリフラワーには野菜に珍しいタンパク質が含まれ、ブロッコリーにはスルフォラファンという抗がん性物質が含まれています。健康にとっても良いお野菜です、ぜひ栽培してみてください。

▶栽培カレンダー ○播種 ▲定植 ×収穫



種選びの際は、播種時期がまちまちなので良く注意して選ぶこと(基本的には4月中旬~6月末が播種期だが、生育初期の低温や生育中盤の高温によって異常花蕾になる場合がある)。苗作りには根巻き防止トレイや大きめのポットを活用し、本葉5枚頃に定植する(株間は広く)。

根こぶ病剤や殺虫剤は必ず畝に混和しておき、晩生品種ほど元肥は多めに入れておくこと。又、カリフラワーは花蕾が卵大になったら必ず葉でくるみ、黄化を防ぐ。

《人気の品種》

●スノークラウン(カリフラワー)



大玉で純白の冠を戴いたような大きな花蕾が魅力のスノークラウンは、肉質が緻密で品質に優れた早生品種。温度に敏感なカリフラワーの中でも低温による異常花蕾の発生が少なく高品質。

●ハイツSP(ブロッコリー)

耐寒・耐夏性に優れ、4~7月と播種期が広く、株が丈夫で育てやすいので初心者にもおすすめ。頂花蕾を収穫した後も側花蕾が次々採れる豊産種。

※種子はフィルムコートされています

●スティックセニョール

ブロッコリーの仲間で小さな蕾と柔らかく長い茎を食べる。適度な甘味がアスパラガスと似ておりサラダに向く。収穫まで約60日程度で、比較的栽培しやすい。直売所でもロングセラーの人気の商品。

